

令和6年11月22日
総合政策局地域交通課

「交通空白」解消・官民連携プラットフォーム 第1回会合を開催します！

～「『交通空白』解消・官民連携プラットフォーム」の設置について～

「『交通空白』解消・官民連携プラットフォーム」を設置し、官民の総力をあげて「交通空白」解消に向けた取り組みを推進するため、同プラットフォームの第1回会合を11月25日(月)に開催します。

1. 日 時 : 令和6年11月25日(月)11:00～12:30
2. 場 所 : 中央合同庁舎3号館 10階共用会議室 (東京都千代田区霞が関2-1-3)
3. 出席者 : 国土交通省・関係省庁・都道府県・団体・企業
4. 議事(予定)
 - 開会挨拶(中野洋昌国土交通大臣)
 - 本プラットフォームの主旨説明(国土交通省)
 - 「交通空白」解消に向けた取組と課題(都道府県・団体・企業)

<プレゼン予定者>

(1)自治体による取組と課題

- 鳥取県 知事 平井 伸治 様
- 全国自治体ライドシェア連絡協議会 理事長 樋渡 啓祐 様

(2)交通事業者による取組と課題

- 第一交通産業株式会社 代表取締役社長 田中 亮一郎 様
- 十勝バス株式会社 代表取締役社長 野村 文吾 様

(3)パートナー企業等からの提案

- 東日本旅客鉄道株式会社 執行役員マーケティング本部副本部長 竹島 博行 様
- イオン株式会社 執行役副社長 渡邊 廣之 様
- 三菱UFJ信託銀行株式会社 執行役員 小関 憲一 様
- 日野自動車株式会社 取締役・専務役員 日本事業 COO 佐藤 直樹 様
- 株式会社電脳交通 代表取締役社長 近藤 洋祐 様
- 三菱商事株式会社 モビリティグループ モビリティサービス本部長 小糸 栄偉知 様

5. 取 材 :

- ・ 本会議の傍聴は、報道関係者に限り、「(2)交通事業者による取組と課題」まで会場内で可能です。
- ・ 報道関係者に限り、「(2)交通事業者による取組と課題」まで、会場内でのカメラ撮影が可能です。

※公務等の都合により、大臣が出席できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- ・ 会議終了後、15 時頃から中央合同庁舎3号館5階会見室にて記者ブリーフィングを行う予定です。
- ・ 会議室での傍聴・カメラ撮りをご希望の報道関係者は、11月22日(金)18:00までに以下のとおりメールにてご連絡願います(登録者多数の場合は、代表社のみの取材とさせていただきます)。

件 名:【取材希望】「交通空白」解消・官民連携プラットフォーム第1回会合

本 文: 氏名(ふりがな)、所属、連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)

送付先: hqt-chiikikoutsu-hourei★gxb.mlit.go.jp

※送信の際には上記の「★」記号を「@」に置き換えてください。

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

- ・ 傍聴およびカメラ撮りについては、会場の都合上、希望者多数の場合は、1社(1団体)につき各1名までといたします。
- ・ 当日 10 時 15 分までに10階エレベーターホールにお集まりください。

6. そ の 他

- ・ 会議資料は、後日、以下の国土交通省ホームページに掲載予定です。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000237.html

- ・ 11 月 28 日より、トヨタ・モビリティ基金主催で第4回「地域に合った移動の仕組みづくり」シンポジウムを開催いたします。本シンポジウムでは、国土交通省の交通空白解消の取組みやプラットフォームなどをご紹介します。詳細は別紙1をご確認ください。
- ・ また、本会議終了後、自治体や交通事業者のほか、全国各地の「交通空白」解消に貢献する意欲・技術などを持つ企業または団体をプラットフォーム会員として公募いたします。詳細は別途、お知らせいたします。

【問合せ先】

総合政策局地域交通課 板垣、大橋、菊地、阿南

代表電話: 03-5253-8111(内線 54724、54817) 直通: 03-5253-8987

～「交通空白」解消・官民連携PF/ 地域の公共交通リ・デザイン実現会議キャラバン～ 「地域に合った移動の仕組みづくり」 シンポジウム

**参加
無料**

会場 & オンライン
同時開催

全5回 13:00～16:00 5か所・5日程から申し込み可能です

オンライン参加 定員なし〔全国どこからでも
いずれの日程でも〕参加可能

会場参加 各会場 定員100名（申込み先着順）

12/6(金)
岡山

第一セントラルビル
岡山市北区本町6番36号

12/17(火)
福岡

国土交通省九州運輸局
福岡合同庁舎新館
福岡市博多区博多駅東2-11-1

12/3(火)
仙台

トラストシティ・
カンファレンス・仙台
仙台市青葉区一番町1-9-1

11/28(木)
東京

トヨタ自動車東京本社
東京都文京区後楽1丁目4-18

12/10(火)
名古屋

ウインクあいち
名古屋市市中村区名駅4丁目4-38

日常生活での移動手段の確保に関する課題は、人口減少、人手不足、地域経済の縮小などと絡みあいながら、地域公共交通はじめ介護施設・病院・学校等への送迎においても顕在化しています。そこで、国土交通省では「地域の公共交通リ・デザイン実現会議」「『交通空白』解消本部」を設置し、日本版/公共ライドシェア等を活用しながら、教育・介護分野等の多様な関係者と連携・協働して、地域公共交通を地域ぐるみで支える取組みを推進しています。また、トヨタ・モビリティ基金も、介護分野と連携した好事例づくりや、自治体・地域などによる活動を支援してまいりました。本シンポジウムでは、国土交通省の取組みや、全国各地の「共創モデル」を中心とした様々な事例をご紹介します。

主なプログラム

（各会場毎の詳細情報はお申し込み後ご案内）

「地域の移動の仕組みづくり」事業（ちいモビ）について
（一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金）

地域の公共交通リ・デザイン実現会議/
政府共通指針・分野別指針
（国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課）

「交通空白」解消・官民連携プラットフォーム/
共創モデル実証運行事業
（国土交通省総合政策局地域交通課）

事例紹介（会場毎に異なります）

申込方法

- 1 QRコードまたは下記URLからアクセスし、お申込みください。
https://chimobi-toyota-mf.jp/event/symposium_4_entry/

Zoomから登録完了メールが届きましたら、
申込完了となります。ご注意ください。

- 2 **オンライン参加の方へ** 登録完了メールを大切に保管ください。当日のご参加に必要となります。
会場参加の方へ ご登録後Zoomからメールが届きますが、
当日Zoomでのご参加はできませんのでご注意ください。

- 3 「会場参加」でお申し込みの方には、
後日事務局より当日の受付方法についてメールをお送りします。
会場参加には定員がございます。定員を超えた場合、
オンライン参加のご案内をさせていただきます。ご了承ください。



モビリティを通じてより良い地域社会の実現を目指す 「地域に合った移動の仕組みづくり」プロジェクト

トヨタ・モビリティ基金は、各地域が自ら「地域に合った移動の仕組み」を立ち上げ、その地域に根付かせられるように、基盤となる「人材の育成」と「事業の支援」を柱に取り組んでいます。

Webサイトで
取り組みを
ご紹介して
おります。

【ちいもビ】
地域に合った
移動の仕組みづくり



一般財団法人
トヨタ・モビリティ
基金



国土交通省からのお知らせ

「『交通空白』解消・官民連携プラットフォーム」の 会員を募集します！

「交通空白」の悩み事を抱える自治体や交通事業者等と、ソリューションを持つ企業との間で幅広い連携を図るプラットフォームを設置

官民の総力をあげて、「交通空白」解消に向けた取り組みを推進するため、自治体等と企業のマッチングを推進

▶体制(想定)

交通空白を
抱える
市区町村
都道府県

国
国土交通省
関係省庁

パートナー
企業

「交通空白」解消
官民連携
プラットフォーム
(仮称)

交通事業者
交通結節点
管理者

各分野の
団体

ぜひプラットフォームへのご参加をお願いします！

—— 11月下旬募集開始予定 ——

悩み事を抱える自治体・交通事業者など



高齢者の
移動手段がない



運転手が
足りない

アンケート例

- ☐ 現在のお困りごとにチェックを付けてください
(買い物や通院の足がない、駅や空港などへの足がない)
- ☐ お困りごとの解決に向けて検討中のものはありますか？
- ☐ 現在運行中の交通モードを教えてください

「交通空白」解消・ 官民連携プラットフォーム



会員内で
アンケート結果・カタログ
などを共有
パイロットプロジェクトの
展開

ソリューションを持っている企業など

配車システムを
統合できます



RSのドライバーを
提供します



アンケート例

- ☐ 提供できるソリューションにチェックをつけてください
(交通GX/DX、運行管理…)
- ☐ 持っているソリューションを具体的に教えてください
- ☐ 今までに自治体の交通プロジェクトに参画したことはありますか